

プリンクル 目元用 製品データ

●目的

- ・化粧水を使う際に、パッティングやコットンだけでは使用中に化粧水が蒸発して十分に保湿ができない。
- ・必要以上に化粧水を使ってしまう。
- ・肌の表面にのせた化粧水が蒸発する際に、肌の中(角質層内)の水分までもってってしまう(過乾燥)
↓ 以上の問題より下記検証を行う。
- ・化粧水に浸した不織布を37℃の熱プレートに置き、その上に『プリンクル目元用』乗せ化粧水の蒸発量を測定
- ・化粧水に浸した不織布を37℃の熱プレートに置き、不織布のみでの化粧水の蒸発量を測定
- ・試験前後の不織布の重量を測定
- ・結果からプリンクルの有効性を確認する。

●測定方法

- ・不織布を化粧水に1分間浸し、化粧水を含んだ不織布の重量を測定
- ① 37℃の熱プレートに化粧水を含んだ不織布を置き、その上に『プリンクル目元用』を乗せる
- ② 37℃の熱プレートに化粧水を含んだ不織布を置く
- ・①, ②の状態です30分熱プレートにて加温後、不織布の重量を測定
- ・化粧水は3社銘柄を使用

| サンプル | 化粧水粘度 | 使用者年代 |
|--------|----------|--------|
| A社サンプル | 高め | 50代 |
| B社サンプル | 高め | 20~30代 |
| C社サンプル | 低め(サラサラ) | 30~40代 |

- ・①, ② 各サンプル n=5 で測定 , 平均値をグラフ化



<熱プレート 加温中の様子>

●結果 (※別紙 グラフ参照)

別紙グラフ①, ②より、

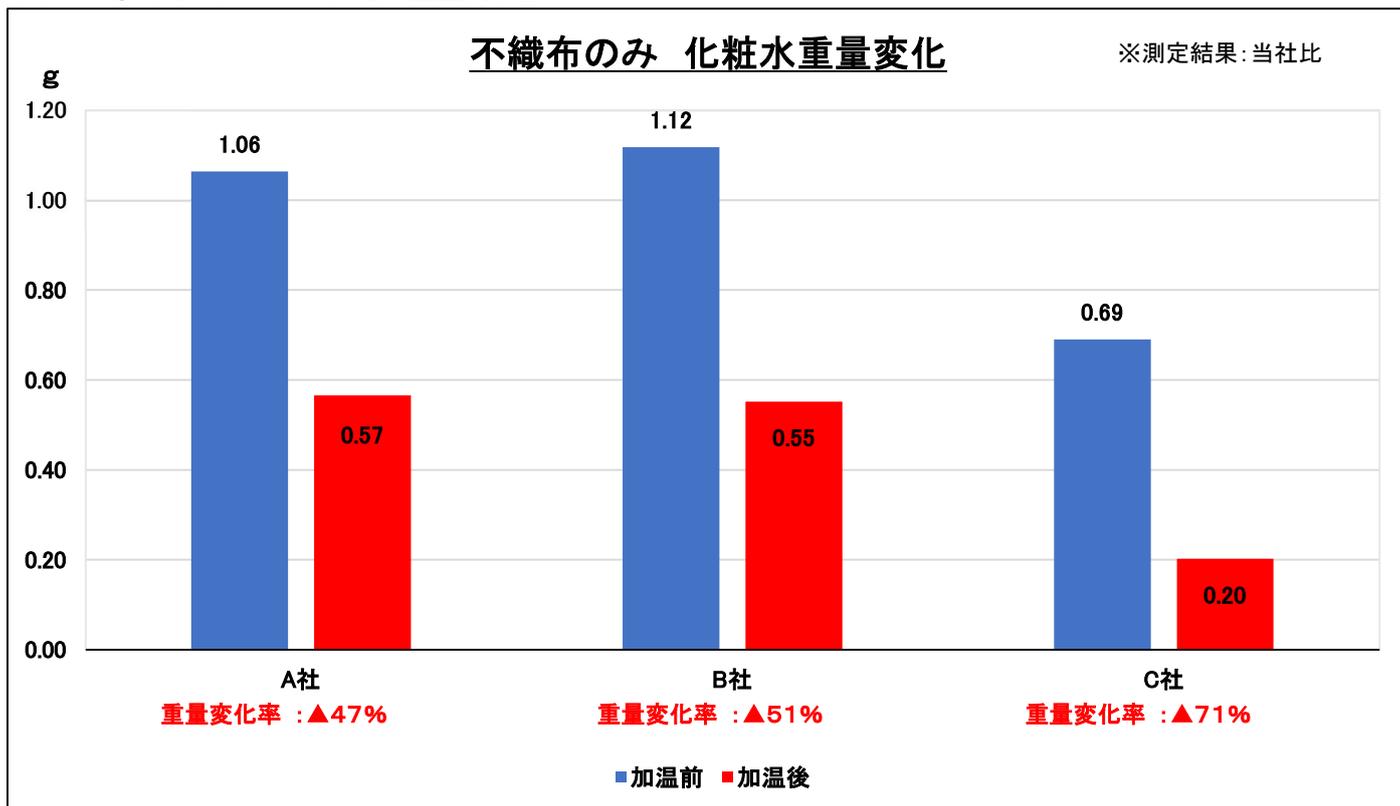
- ・『プリンクル目元用』を使用した不織布と、未使用の不織布では、未使用の不織布の方は、化粧水が蒸発(約50~70%)してほとんど残ってなかった。(※触感では湿り気を感じなかった)
- ・使用した方の不織布はプリンクルが蒸発をカバーしており、化粧水が95%以上残っていることを確認できた。

●考察

- ・試験結果より、保湿の際に『プリンクル目元用』を使用することにより、化粧水の蒸発をカバーすることができ、化粧水の使用量、過乾燥を抑えられ、肌への保湿効果の有効性が期待できる。

※別紙グラフ

●グラフ①『不織布のみ 化粧水重量変化』



●グラフ②『不織布+プリンクル 化粧水重量変化』

